|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 分野名 | ビジネス情報分野（ソフトウェア活用） | |
| 教科書 | ソフトウェア活用（実教出版） | |
| 単　元 | 章 | 第４章　データベースソフトウェアの活用 |
| 節 | １節　ビジネスとデータベース |
| 教材の  タイトル | データベース型サイトのＳＥＯ | |
| 教材からの学び | １　データベースの重要性を理解できる。  ２　企業活動の改善に対する要求を分析できる。  ３　科学的な根拠に基づいて情報を管理・提供し、評価・改善ができる。  ４　課題解決に向けて、主体的かつ協働的に取り組むことができる。 | |
| 時間数 | ２時間 | |
| 授業の  進め方 | ＜データベース型サイトのＳＥＯ＞  １　本時の目標確認と授業の進め方について説明する。（５分）  ２　各グループでビジネスのジャンルと商品を決定する。商品については、データベース型サイトで検索エンジンの上位ランキングを目指すことを念頭に置き、保有している物品やサービスを具体的に説明できるような知識を身に付ける。（10分）  ３　各グループでサイトに登録する際の商品ページを考える。（15分）  ４　該当するジャンルのデータベース型サイトを閲覧し、グループで考えた商品ページとの違いを比較する。気付いたことや工夫されていることなどを中心に情報の収集と分析をする。（20分）  ５　本時の目標を確認して、ワークシートを進める。（５分）  ６　科学的な根拠に基づいた課題を発見し、どうすれば検索エンジンの上位ランキングに表示されるようになるかという課題を解決するための施策について思考を深める。ただし、その商品のことだけではなく、他の商品においても応用が利くような包括的な視点で考える。なお、具体的な例を挙げることを推奨する。（30分）  ７　各グループの解決策について簡潔にまとめて発表し、情報の共有を図る。  （10分）  ８　これらの活動から学んだことをまとめる。（５分） | |

データベース型サイトのＳＥＯ　授業計画

■本単元の位置付け

第４章　データベースソフトウェアの活用

１節　ビジネスとデータベース

■本単元の目標

１時間目

データベースの重要性を理解し、企業活動の改善に向けた取組について思考する力を身に付ける。また、閲覧したサイトから情報の収集と分析をする力も身に付ける。

２時間目

科学的な根拠に基づいて情報を評価し、改善するための課題を発見する力を身に付ける。

また、課題解決に向けて主体的かつ協働的に学び続ける態度を養う。

■評価の規準

【Ａ】知識・技術

・データベースについての理解を深め、関連する技術を身に付けている。

・必要な情報を収集する力を身に付けている。

【Ｂ】思考・判断・表現

・収集した情報を評価し、改善するための課題を発見することができる。

・科学的な根拠に基づいて自身の考えを説明できる。

・多面的・多角的な視点から情報を活用することができる。

【Ｃ】主体的に学習に取り組む態度

　・課題解決に向けて主体的に学び続けることができる。

・グループワークにおける自身の役割を認識し、積極的に取り組んでいる。

・実務に即して体系的・系統的に理解しようとしている。

■留意事項

　・検索エンジンの上位ランキングに表示される商品の共通項を見いだせるように留意させる。

　・思考する際には情報を比較して違いを考えさせること。また、包括的な視点から考えることで改善する内容に汎用性が生まれることを意識させる。

**データベース型サイトのＳＥＯ**

目　標：科学的な根拠に基づいて情報を管理・提供し、評価・改善ができる。

分析結果から課題を発見し、解決へ向けて主体的かつ協働的に学び続けることができる。

〇　データベース型サイトとは

大量の保有情報に基づいて、ウェブページが自動作成されるサイトのこと。

「ＥＣサイト」「グルメサイト」「旅行サイト」など、ビジネスの各ジャンルに存在している。

〇　ＳＥＯ（Search Engine Optimization）とは

検索エンジンの最適化のこと。検索エンジンのランキング上位表示を目指す手法。

〇　ジャンルと商品の決定（グループワーク）

|  |
| --- |
|  |

〇　商品ページ（イメージ）

|  |  |
| --- | --- |
| ・商品名  ・商品画像  ・商品金額  ・商品仕様  　（特徴や説明）  ・評価・レビュー  ・在庫状況  　　　　　など |  |

〇　情報の収集・分析（データベース型サイトからわかること・気付き・工夫されていること）

|  |
| --- |
|  |

〇　科学的な根拠に基づいた課題発見・解決（どうすれば上位に表示されるか）

|  |
| --- |
| 1. 検索キーワードの最適化 2. 商品名の最適化 3. 商品説明の最適化 |

〇　上記の活動から自身が学んだこと（個人）

|  |
| --- |
|  |

　　　年　　　組　　　番　氏名

**これより教師用参考資料**

**データベース型サイトのＳＥＯ**

目　標：科学的な根拠に基づいて情報を管理・提供し、評価・改善ができる。

　　　　分析結果から課題を発見し、解決へ向けて主体的かつ協働的に学び続けることができる。

〇　データベース型サイトとは

大量の保有情報に基づいて、ウェブページが自動作成されるサイトのこと。「ＥＣサイト」「グルメサイト」「旅行サイト」など、ビジネスの各ジャンルに存在している。

〇　ＳＥＯとは

検索エンジンの最適化のこと。検索エンジンのランキング上位表示を目指す施策。

〇　ジャンルと商品の決定（グループワーク）

|  |
| --- |
|  |

〇　商品ページ（イメージ）

|  |  |
| --- | --- |
| ・商品名  ・商品画像  ・商品金額  ・商品仕様  　（特徴や説明）  ・評価・レビュー  ・在庫状況  　　　　　など |  |

〇　情報の収集・分析（データベース型サイトからわかること・気付き・工夫されていること）

|  |
| --- |
|  |

〇　科学的な根拠に基づいた課題発見・解決（どうすれば上位に表示されるか）

|  |
| --- |
| 1. 検索キーワードの最適化   購入者が閲覧可能な情報（商品名、商品説明、ブランド名などのすでに登録した情報）を別の表現で言い換えた言葉を登録する。  ・上位語：商品群をまとめる言葉（野球バット＜スポーツ用品）  ・同義語：同じ商品を意味する言葉（水筒・ウォータボトル、筆箱・ペンケース）  ・文字形態：漢字・ひらがな・カタカナ・英語綴り（眼鏡・メガネ、鞄・かばん・カバン）  登録済みの情報や商品に関連しない情報は登録しない。  ・同じ情報の登録より、検索しうる情報を網羅  ・他社の商標、類似製品名、製品コード  ・多くの商品に当てはまる言葉（「本」などの商品カテゴリー）  ・主観表現：感情的な言葉（「素晴らしい」「最高の」）  ・状況表現：一時的な言葉（「新商品」「セール品」）   1. 商品名の最適化   ・タイトルの長さは60字程度  ・メーカーやブランド、一般名称、特徴（仕様・色・サイズなど）、型番、容量・重量  など   1. 商品説明の最適化   ・商品情報やイメージを伝える画像・説明をすること（特徴・差別化・魅力など）  ・商品の仕様を箇条書きで記載（サイズ、対象年齢、推奨環境、原産国など） |

〇　上記の活動から自身が学んだこと（個人）

|  |
| --- |
|  |

　　　年　　　組　　　番　氏名